

選考結果総括表

府省庁名 文部科学省

役職		現任者				任命予定者			選考経過
		氏名	年齢	当初就任 年月日	前職	氏名	年齢	現(前)職	
(独)国立特別支援教育総合研究所	理事長	央戸 和成	68	H25.4.1	国立大学法人筑波大学附属久里浜特別支援学校長	公募の結果、適任者なしとなったため、 当面の間、継続			応募総数 7 名 ↓ 書類選考 (0 名)
(独)日本学術振興会	理事長	里見 進	73	H30.4.1	国立大学法人東北大学長	杉野 剛	60	文部科学省研究振興局長[OB]	応募総数 5 名 ↓ 書類選考 ↓(2 名) 面接 ↓(2 名) 面接した他の候補者の 情報と併せ、検討の上、 任命権者が選任
(国)海洋研究開発機構	理事 (経営管理担当)	板倉 周一郎	59	H31.4.1	内閣府経済社会総合研究所総括政策研究官 文部科学省大臣官房付 [役員出向]	森本 浩一	65	(国)海洋研究開発機構 審議役 文部科学省国際統括官 [OB]	応募総数 5 名 ↓ 書類選考 ↓(2 名) 面接 ↓(2 名) 優先順位を付した情報を 踏まえ、任命権者が選 任 ↓ 所管大臣に協議

※ 公務員OB該当者は、現任者及び任命予定者の「現(前)職」欄に[OB]と記載すること。

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所役員名簿新旧対照表

公募

現 任 者							就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
役 職	氏 名	年齢	当初就任 年月日	任期	任期満了 年月日	前 歴	氏 名	年齢	前 歴		
理事長	宍戸 和成	68	H25. 4. 1	※1	R8. 3. 31	国立大学法人筑波大学附属 久里浜特別支援学校長	※公募の結果、適任者なしとなったため、 当面の間、継続			文部科学大臣	
理事	梅澤 敦	55	H31. 4. 1	2	R5. 3. 31	内閣府政策統括官（科学技術・イノベーション担当） 付参事官（国際担当） 文部科学省大臣官房付 【役員出向】				理事長	
監事 (非常勤)	浅野 良一	66	H27. 4. 1	※2	R8. 8 (見込み)	国立大学法人兵庫教育大学 特任教授				文部科学大臣	
監事 (非常勤)	中家 華江	56	H27. 4. 1	※2	R8. 8 (見込み)	公認会計士				文部科学大臣	

※1 理事長の任期は、中期目標の期間の末日まで。

※2 監事の任期は、中期目標の期間の最後の事業年度(R7年度)についての財務諸表承認日まで。

公募

独立行政法人日本学術振興会役員名簿新旧対照表

現任者							就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日
役職	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢	前歴		
理事長	里見 進	73	H30.4.1	※1	R5.3.31	国立大学法人東北大学長	杉野 剛	60	文部科学省研究振興局長[OB]	文部科学大臣	R4.4.1
理事	先崎 卓歩	53	R3.7.1	2	R5.9.30	文部科学省研究振興局学術研究助成課長【役員出向】				理事長	
理事	水本 哲弥 (非常勤)	65	R3.10.1	2	R5.9.30	国立大学法人東京工業大学 理事・副学長				理事長	
監事	小長谷 有紀	64	H30.9.1	※2	R5.8 (見込み)	人間文化研究機構国立民族学博物館超域フィールド科学研究部教授				文部科学大臣	
監事 (非常勤)	西島 和三	68	H30.9.1	※2	R5.8 (見込み)	持田製薬株式会社医薬開発本部フェロー				文部科学大臣	

※1 理事長の任期は、中期目標の期間の末日まで。
※2 監事の任期は、中期目標の期間の最後の事業年度(R4年度)についての財務諸表承認日まで。

国立研究開発法人海洋研究開発機構役員名簿新旧対照表

	現任者						就任(予定)者			任命権者	発令(予定)日	
	役職	氏名	年齢	当初就任年月日	任期	任期満了年月日	前歴	氏名	年齢			前歴
公募	理事長	松永 是	72	R元. 9. 1	3 ※1	R4. 3. 31	東京農工大学長 早稲田大学理工学 術院上級研究員／ 研究院教授				文部科学大臣	
	理事	倉本 真一	60	R3. 4. 1	1	R4. 3. 31	(国)海洋研究開発 機構研究プラット フォーム運用開発 部門長				理事長	
	理 事	板倉 周一郎	59	H31. 4. 1	2	R4. 3. 31	内閣府経済社会総 合研究所総括政策 研究官 文部科学省大臣官 房付 【役員出向】	森本 浩一	65	(国)海洋研究開発 機構審議役 文部科学省国際統 括官	理事長	R4.4.1
	理 事	河野 健	58	R3. 4. 1	1	R4. 3. 31	(国)海洋研究開発 機構地球環境部門 長				理事長	
	監 事	鷲尾 幸久	65	H28. 4. 1	※2	R4. 8 (見込み)	(国)海洋研究開発 機構広報部長				文部科学大臣	
	監 事 (非常勤)	前田 裕子	61	H26. 4. 1	※2	R4. 8 (見込み)	(株)ブリヂストン執 行役員環境担当				文部科学大臣	

※1 理事長の任期は、中期目標の期間の末日まで。

※2 監事の任期は、理事長の任期の末日を含む年度(令和3年度)の財務諸表の承認日(8月末)まで。

（独）日本学術振興会理事長選任理由

独立行政法人日本学術振興会（以下、振興会）は、学術の振興を図ることを目的とする我が国唯一の独立した資金配分機関（ファンディングエージェンシー）として、科学技術・イノベーション基本計画など国の学術振興策を踏まえつつ、研究者の活動を安定的・継続的に支援するため、学術研究への助成、研究者養成への支援、学術に関する国際交流の促進、学術の応用に関する研究とともに、国内外への学術研究動向や諸外国の学術振興方策に関する調査・研究などを総合的に実施している。

そうした組織にあって、本ポストには、振興会を代表して、法人全体の運營業務を総理するとともに、人文学、社会科学から自然科学までのあらゆる分野にわたり、知の開拓に果敢に挑戦する研究者をしっかりと総合的に支えるためにも、より研究者の視点に立った事業の改革や制度改善に取り組むことが求められる。

本件公募に対しては、5人の応募があり、選考委員会による一次選考（書類選考）の結果、2人の候補者に絞られた。その後、選考委員会は二次選考（面接審査）を行い、審議の結果、いずれの候補者も理事長としての適性を有していると認められたが、より明確なビジョンを有している杉野剛氏が理事長候補者として最適任であるものと判断したことを、文部科学大臣に提示し、最終的に文部科学大臣が同人を選任したところである。

任命理由は、杉野氏はこれまで文部科学省研究振興局長や独立行政法人の理事を歴任し、組織運営に関する上位の管理経験を有し、学術研究の重要性を十分に理解していると判断されたこと、また、我が国の学術研究の発展のために振興会に求められる改革の重要性、必要性等の観点において明確なビジョンを有しており、理事長の資質に合致していることが、選考委員会による書類選考及び面接審査を通じて高く評価されたことによるものである。

特に、同人は1990年代から日本の研究力が落ちてきていること等の課題を呈し、大学教育との連携の視点を持つことの重要性や、振興会が更に発展するために組織のガバナンスを強化し、柔軟な発想で新しい振興会のスタイルを構築していきたいとの今後の取り組みへの意欲も示していることから、文部科学大臣もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

国立研究開発法人海洋研究開発機構理事（経営管理担当）選任理由

本法人の使命は、海洋に関する基盤的研究開発、学術研究を総合的に行うことにより、学術研究の発展に資することにある。

そうした組織にあって、本ポストには、そのミッションとして、理事長を補佐し、経営企画、海洋科学技術戦略、総務、人事、経理、情報セキュリティ・システム、安全衛生監理等に関する事項について業務を掌理し、中長期目標を達成するための計画を確実に実施できる経営能力、実行力及びリーダーシップを有することが求められる。

本件公募に対しては、5人の応募があり、選考委員会による書類選考で2人に絞られた候補者について、選考委員会が面接を行った上で、最も高い評価を得た者と他の候補者に対する評価を任命権者である理事長に提示し、これに基づき、文部科学大臣との協議を経た上で、理事長が森本浩一氏を選任したところである。

選任理由は、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）海洋課題における管理法人のプロジェクト長を務めており、国や国際機関、民間企業との連絡・調整・交渉を行うなど、職務内容書で必要とされる能力、経験が十分にあり、かつ、本法人の経営運営改革を経営の透明性やリスク管理等の具体策をもって実施するという明確な目的意識と情熱を持つことなどが、選考委員会による書類選考及び面接を通じて最も高く評価されたことによるものである。特に同人は、現在も法人の審議役として尽力し、明確な理念・方針を持っている点が強みであり、理事長もそうした能力と情熱に大いに期待しているところである。

選考委員会の属性について

【文部科学省】

- ・独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・公認会計士	1名
・弁護士	1名
・大学教授	1名
・団体役員	2名
計	5名

- ・独立行政法人日本学術振興会

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・公認会計士	1名
・弁護士	1名
・団体役員	3名
計	5名

- ・国立研究開発法人海洋研究開発機構

選考委員会のメンバーの属性は以下のとおり

・大学名誉教授	1名
・会社経営者	1名
・弁護士	1名
・団体役員	1名
・報道関係者	1名
計	5名